

平成24年度

事業計画

○当協会は、平成24年に創立30周年を迎えます。その節目の年の4月1日をもって公益財団法人に移行することになりました。新生「公益財団法人 関西・大阪21世紀協会」は、文化の振興を通じて都市の国際的な知名度の向上や人材の育成を図り、関西・大阪の経済、社会の活性化に寄与することを目的に、次の事業に取り組んでまいります。

- (1) 関西・大阪の文化力向上計画の提案や機運醸成及びそれらに必要な情報収集と蓄積発信事業
- (2) 関西・大阪の経済、社会の活性化に資する事業
- (3) 関西・大阪の魅力と知名度向上を図る事業
- (4) 関西・大阪の伝統文化催事や芸術・芸能の保護と調査研究及び促進と発信事業
- (5) 上記にかかわる人材の育成
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○特に今年度の活動に当たっては、30周年の記念事業として、成長著しい東アジア諸国と日本の安定と発展をテーマに、日本の文化戦略や関西の果たす役割を議論する「関西・大阪文化力会議」を開催します。また、経済団体の提言や有識者の意見も踏まえ、大阪版アーツカウンシルの取り組みの検討をスタートさせるとともに、公益法人に対する寄付金の税制優遇措置などの新たな制度の活用も取り入れ、協会の安定的な事業基盤の構築に向けても注力していきます。さらに関連諸団体と連携を深め、「大阪城サマーフェスティバル」を大きく育て、大阪の発信力の強化に取り組めます。具体的には以下の事業を推進していきます。

1. 文化力向上と人材育成

協会が培ってきたネットワークを活かし、関西・大阪の文化力向上と、人材の発掘・育成事業に取り組む。

(1) 文化力の向上

①協会設立30周年記念事業<Ⅰ>

関西・大阪文化力会議～21世紀のアジア太平洋と関西～（公益目的事業）

急成長する東アジアの安定と発展のため、日本の文化戦略や関西の果たす役割をマハティール元首相や細川元総理大臣等の基調講演と、経済界、行政、研究機関の有識者によるパネルディスカッションを踏まえ「中之島宣言」を採択するとともに、マスコミをはじめ関係機関に広く提言する。

主 催 (財)大阪21世紀協会、(株)大阪国際会議場、大阪国際フォーラム

実施時期 平成24年4月25日

協会設立30周年記念事業<Ⅱ>（公益目的事業）

関西・大阪文化力会議で議論、提唱されたアジアと関西の関わりを芸能、芸術を通じて体験し、文化による国際交流を深める。同時に協会の30年にわたる活動を映像等で紹介する。

実施時期 平成25年1月

②協会設立30周年記念誌発行 (公益目的事業)

関西・大阪の文化活動の変遷、当協会の歩みと今後の目指すべき方向性をまとめた記念誌を編纂し、多方面に広く紹介する。すでに10年史、20年史を発刊しており、この10年に焦点をあてた内容とする。

③21cafe (その他事業)

関西・大阪でまちづくり、文化創造活動に携わるさまざまな方々をゲストに招き、サロン形式で情報交換をすることにより、異分野の参加者が交流し、新しいアイデアやコラボレーションを生みだせる場を創出する。

実施時期 年6回

④インテリジェントアレー・専門セミナー (公益目的事業)

関西社会人大学院連合のセミナーに当協会が講座を提供。関西の大学、大学院が、社会人向けの専門セミナーを都心部で集中的に開催することに協力し、文化による人材の育成及び地域活性化を目的とする講座を行う。

主 催 NPO 法人関西社会人大学院連合

⑤文化事業等への後援 (その他事業)

関西、大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状・楯の授与等）を行う。

(2) 人材育成

①大阪文化祭賞（公益目的事業）

大阪の芸術文化活動の奨励及び普及を図り、文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府、大阪市とともに平成24年5月～6月に大阪府内で行われる公演等を対象に「大阪文化祭」を開催する。参加公演の中から注目すべき成果をあげた個人または団体に賞を贈呈し、広く紹介する。当協会からは、賞金を贈呈する。

主 催 大阪文化祭実行委員会

(大阪府、大阪市、財大阪21世紀協会(事務局))

贈呈式 平成24年8月～9月

②アートストリーム2012（公益目的事業）

公募選考により、関西一円で活動する若手アーティストやクリエイターを発掘し、作品発表の場を設けるとともに、出版社や芸術関係者とのビジネスマッチングの場の提供を目的として関西の芸術・文化の高揚を図る。集客効果の高い会場で、従来のアートに加え、デザイン、キャラクターの作品を公募、選考し、アワードを発表するとともにアートマーケットを行う。

主催 アートストリーム実行委員会

(大阪府、大阪市、大阪芸術大学、財大阪21世紀協会(事務局))

実施時期 平成24年11月

③アート・アSEMBリー（公益目的事業、その他事業）

音楽・芸術分野における人材の育成を目的に、大阪文化祭賞受賞者など、優れたアーティストを有識者等に紹介するための発表の場、交流の場づくりを行う。

実施時期 平成24年 秋

④国際ワークショップフェスティバル 100DOORS（公益目的事業）

関西・大阪で活躍する魅力的な人材を講師に迎え、古典芸能からポップカルチャー、最新アートなど多彩な体験型講座をワンコイン（500円）で集中開催する。市民が教え、学ぶ場を作ることにより、「文化を体験する」楽しさを提供し、市民の創造活動を誘発し、文化の裾野を広げ、大阪の文化力を高める。さらに、後述の大阪城サマーフェスティバルの関連イベントとして発信力を強化する。

主 催 International Workshop Festival 実行委員会
(大阪市、LLPアートサポート、(財)大阪21世紀協会)

実施時期 平成24年7～8月

2. 関西・大阪のイメージ向上

関西・大阪の魅力と知名度向上を図るため、関西・大阪のイメージ向上につながるブランド情報を収集し、機能的、効果的に発信する。

(1) 「はなやか関西～文化首都年～」への参画（公益目的事業）

関西の特色である文化の集積を活かし、各地の資源を特定のテーマによって広域的に連携させ、関西が一丸となって支援や情報発信を行うことで、文化首都圏・関西の活性化と情報発信の強化を目指す。

主 催 国土交通省近畿地方整備局

(2) 関西・大阪ブランドの映像発信

① 関西国際空港等公共スペースでの関西・大阪ブランドの映像発信（公益目的事業）

関西国際空港等の公共スペースを活用し、関西のイメージ向上に繋がるブランド映像「四季の関西・大阪の魅力（景観、季節の風物他）」を発信する。また、これらの映像を著作権フリーのライブラリーとして海外向けに利用拡大をはかる。

② 関西・大阪コンテンツ制作（公益目的事業）

伝統行事や伝統芸能など、関西が誇る文化資産、魅力的なブランド資源を編集し、協会 WEB などを通じて広く発信する。今年度は好評を博した 「鍋騒動」の続編として「大阪の食文化」を特集する。

③「夏祭り」ライブラリーの充実（公益目的事業）

関西の伝統催事である数々の祭りの中から、今年は大阪の祭りに焦点をあてて記録映像をライブラリー化するとともに、協会 WEB を通じて、広く発信する。

（３）WEB放送局の運営（公益目的事業）

芸術、文化活動、伝統行事等、関西・大阪のイメージ向上につながるブランド情報を収集、編集し、ホームページ上の動画や YouTube を活用して、関西をはじめ全国の幅広い層へ発信する。

（４）ブランド情報誌「KANSAI・OSAKA*文化力」（仮称）（公益目的事業）

関西・大阪のブランド力向上を目的として、関西・大阪の文化に関する諸課題や、協会の取り組みを広く発信するブランド情報誌として、定期刊行を行う。

発行時期 秋、春

（５）御堂筋等におけるバナー展開（収益事業）

御堂筋、長堀通等の市道の街路灯へのイベントバナーを掲揚し、都市景観の向上を図る。

（６）広報活動（公益目的事業）

協会の目的、事業に対する理解を促進するため、協会が実施する公益目的事業等への取り組み、活動状況をマスコミ等に対して効果的に発信していく。

3. 水都大阪まち育てと社会実験

「大阪1500年都市」のエッセンスが蓄積されている大阪城エリアを中心に、水都大阪の推進と大阪城サマーフェスティバルを世界から注目される名物へと育てることを目指す。

(1) 「大阪城サマーフェスティバル2012」 (公益目的事業)

夏季に大阪城と周辺で実施される様々なイベントの集約と連携を図り、『大阪の芸術文化の情報発信力を強化』、『大阪の賑わい創出と観光集客』をめざし、大阪城のブランド向上を図る。今年度はさらに

- ・「平成 OSAKA 天の川伝説」の実施時期とエリアを見直し、各イベントの連続及び集中開催で、大阪城界隈の集客増を図る。
- ・西の丸庭園特設ステージの共同利用事業は、3年間の社会実験を踏まえ、サマーフェスティバルの核となる事業としてさらなる拡大に取り組む。

主 催 大阪城サマーフェスティバル実行委員会

(大阪府、大阪市、経済団体等、財大阪21世紀協会(事務局))

実施時期 平成24年7月～9月

(2) 水都大阪の継承、継続

大阪城サマーフェスティバル事業との連携を高め、活動エリアを拡大し、大阪城周辺から八軒家浜、中之島界隈を中心に季節毎の賑わいを創出する。

① 「平成 OSAKA 天の川伝説 2012」 (公益目的事業)

旧暦七夕(8月)に開催、本年は LED の“いのり星”放流エリアを拡大する。大阪城サマーフェスティバル「西の丸ステージウィーク」期間中には内堀に展開、大阪城ホール前付近から八軒家浜界限までエリアを拡げて「天の川」を出現させる。

主 催 平成 OSAKA 天の川伝説運営委員会

((社)関西経済同友会「水都大阪推進協議会」、

NPO 法人大阪水上安全協会、(財)大阪 21 世紀協会(事務局))

実施時期 平成 24 年 8 月

②大阪水上音楽パレード 2012 (公益目的事業)

過去 3 回の実績を踏まえ、NPO 法人・大阪水上安全協会とともに、水都大阪に相応しい秋の行事として定着を図る。

- ・市内の河川を航行する船舶によるパレードで、大川と道頓堀を結び、水都をアピールする。
- ・少年育成の一環として、高校吹奏楽部の発表の場として定着と拡大を図る。
- ・水辺を活用した芸術振興の場とする……水辺の施設と船舶を活用し、アーティストと来場者が一体となった芸術パフォーマンスを行う。

主 催 (財)大阪 21 世紀協会、NPO 法人大阪水上安全協会 共催

実施時期 平成 24 年 10 月

4. 伝統文化催事・芸能の保護・育成

関西・大阪の伝統文化催事や芸術・芸能の保護を目的とし、伝統行事への支援、情報発信等を行うことで関西・大阪の魅力と知名度向上を図る。

(1) 無形文化財の保護、育成事業への支援（公益目的事業）

住吉大社御田植神事や今宮戎宝恵駕行列など大阪を代表する社寺で行われる伝統祭事を支援するとともに、記録や映像を交え、その保存に取り組む。

対象行事：今宮戎宝恵駕行列（1月10日）、

住吉大社御田植神事（重要無形民俗文化財、6月14日）

(2) ミナミ上町台地調査・研究（公益目的事業）

大阪、上町台地の歴史や伝承を探り、伝えられてきた催事に触れ、実地調査を行い、その歴史的役割や大阪のアイデンティティーを探る。

実施時期 春～夏

5. その他

関西経済同友会「歴史文化振興委員会」の提言を受け、大阪版アーツカウンシルの取り組みの検討をスタートさせるとともに、公益法人に対する寄付金の税制優遇措置の新たな制度の活用も取り入れ、協会の安定的な事業基盤の構築や、制度構築のための調査・研究を行う。

* 1) アーツカウンシル…イギリスの文化芸術の助成機関「芸術評議会」

* 2) 平成 24 年 4 月 1 日（予定）より公益財団法人移行に伴い「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の規定に基づき、事業を区分して表記しています。

「公益目的事業」… 関西・大阪の文化力、魅力、知名度の向上による経済、社会活性化に資する事業

「収益事業」… 物品貸出事業

「その他事業」… 公益目的事業に付随または密接に関連する人材育成、交流、後援事業